



ボランティアバスケット

平成23年8月 43号

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会 安佐南区ボランティアセンター
〒731-0194 広島市安佐南区中須1丁目38-13 (安佐南区総合福祉センター内)
TEL 082-831-5011 FAX 082-831-5013
E-mail asami@shakyohiroshima-city.or.jp



要約筆記ボランティア入門講座

要約筆記は、耳の聞こえにくい人のために人の話や情報を文字に書いて伝える活動です。聴覚障がいのある方がかかえる問題を理解し、要約筆記の方法を学び、活動してみませんか？



【日時・内容】

回	日 時	内 容
1	9/12 (月) 10:00~12:00	オリエンテーション 講義 「要約筆記」とは? 「中途失聴・難聴」とは? 体験発表 「難聴者の生活」 実習 「要約筆記の表記」
2	9/26 (月) 10:00~12:00	実習 「読みやすい筆記」「話し言葉の要約」 体験発表 「難聴者の生活」「要約筆者として」
3	10/3 (月) 10:00~12:00	実習 「ノートテイク」とは? ノートテイクによる交流会



場 所：安佐南区総合福祉センター 6階 会議室1. 2
対 象：聴覚障害者への支援に関心があり講座終了後ボランティア活動ができる人
講 師：広島市中途失聴・難聴者協会 広島市要約筆記サークルおりづる 安佐南支部
定 員：20人 (定員になり次第締め切ります)
参 加 費：500円 (テキスト代として)
申し込み：安佐南区社会福祉協議会

TEL 831-5011 FAX 831-5013

掲載記事へのご意見・ご感想・各講座などへの参加申し込みにつきましては、安佐南区社会福祉協議会までお問い合わせください。安佐南区総合福祉センターへおこしの際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。車でお越しの際は、第2・3駐車場のご利用をお願いします。

東日本大震災に係る

宮城県への災害派遣の報告



平成 23 年 5 月 30 日（月）～6 月 7 日（火）まで宮城県岩沼市へ行きました。岩沼市は、宮城県南東部に位置し、太平洋に面しており、人口は約 4 万 4 千人です。

初日に宮城県社協職員の方に津波により特に被害を受けた地域に連れて行ってもらいました。テレビ等で見た光景が目の前にありました。逆さまになった自動車、がれきの山、油のような異臭のするヘドロ、津波により破壊された堤防。すべてが言葉にならないほどの衝撃でした。

3 月 11 日の地震・津波の影響により海岸から数kmまで土砂やヘドロが家屋まで侵入している状況でした。この土砂かきをするボランティアの受付、作業内容の説明、土砂をかき出すための資材準備等の調整をしました。

ボランティアの皆さんは、全国から来ておられ、20 歳代から 60 歳代くらいまで男女問わず参加されていました。近くにテント村があり、そこで宿泊している方々がほとんどでした。被災地によっては、活動時間が丸 1 日であったり、午前午後と分かれていたりしますが、岩沼市の場合は、後者でした。平日はだいたい 100 人前後、土日は 120 人くらい参加されていました。

また、その他の支援として、仮設住宅に入居されている方々への生活支援のお手伝いもしました。

自転車で仮設住宅をまわっているとさまざまな依頼が入ってきます。購入した棚の組み立てをしてほしい。日用品が入った救援物資を箱から出してほしい。洗濯機の水が出ないのでなんとかしてほしい。家の中が見えないようなれんをつけてほしいなど。私が広島から来たことが分かったと、遠い所からわざわざありがとうございますとねぎらいの言葉をかけられました。

そのなかでも一番印象に残っているのは、80 歳の女性で津波の影響で 2 日間自宅に体半分まで水に浸かりながら救助を待っていた方でした。私には想像し難いことであるし、それができるかどうか自信がありません。生きるということを軽々しく使っていた自分が恥ずかしくなりました。

最後になりますが、このたびの災害派遣で感じたことがあります。

それは、日々の営み、ありふれた日常生活、あたりまえのことがあたりまえにできることが幸せなのではないかと思いました。被災地が一日も早く復興することをお祈りし、今度は観光として宮城県を訪問したいです。「とんかつ」がとても美味しい岩沼市をみなさんも訪ねてみてはどうですか。



安佐南区社会福祉協議会職員

宮田 明典

ボランティア連絡会研修会

東日本大震災から私たちにできることを考えました！！



気仙沼市の復興に向けた活動

という声や、「広島で出来る支援があること、広島に心強い支援活動をされている方がいることを嬉しく思いました」という感想を持たれた方もいました。

その後、自分たちのV活動の中で何が出来るのか、そのためには何が必要なのかをグループで話し合い、話し合うことで何らかの気づきや、今後につながるアイデアなどをポスターセッションで情報を共有しました。現状を見直し、いざという時に機能するためには、普段のつながり・地域の絆が大切であるということが再確認できた“場”となりました。

7月22日(金)ボランティア連絡会主催の研修会が開催され、46名の方が参加しました。研修会の内容を検討する際に、「被災地に行き、ボランティア活動をされた方の話を聞きたい」という希望が多くあり、今回の研修会となりました。

安佐南区ボランティアセンターに関わりがある3名の講師からパワーポイントによる映像を交えた報告を受け、「自分にできることを何らかの形で行動することが大切と感じました」



V活動の中で何が出来るのか協議中

大和証券福祉財団 第18回ボランティア活動助成

応募資格：ボランティア活動を目的とした団体・グループ

(申込には社協・共同募金会の推薦必要。但し、第15回以降に当財団の助成を受けた団体は本年の応募資格はありません)

対象活動：特に在宅高齢者・障がい児・者、児童問題等に対するボランティア活動

助成金：上限額30万円(1団体あたり)総額1,500万円(上限1,800万円)

応募期間：平成23年8月1日～平成23年9月15日(当日消印有効)

対象期間：平成24年1月～12月の活動に対して助成

応募方法：所定の申込書を財団事務局あてにご郵送ください

申込書は原本(1部)・コピー(1部)合計2部必要(申込書以外の資料配布は必要なし)

請求方法：財団ホームページ(<http://www.daiwa-grp.jp/dsf/index.html>)よりダウンロード可能
必要な場合は、財団事務局までご請求ください

送付先：公益財団法人 大和証券福祉財団事務局

〒104-0031 東京都中央区京橋1-2-1 大和八重洲ビル

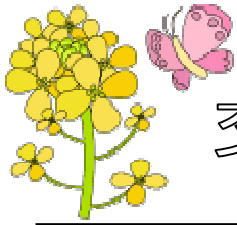
TEL 03-5555-4640 FAX 03-5202-2014

その他：助成決定は平成23年12月上旬に決定され代表者宛てに文書にて通知

助成金贈呈は平成24年1月～3月中旬までに贈呈

平成24年1月末日迄に助成金使途報告書を提出していただきます





なの花 交流会を行ないました



6月29日(水)聞こえにくい方のおしゃべりをお手伝いするボランティアグループ「なの花」が、バスハイクで湯来ロッジへ行きました。

聴覚障がいがある方とボランティアが、手話やボードを使ってコミュニケーションをとり、一緒に食事をしたたり、グランドゴルフを楽しんだり笑顔いっぱいの交流となりました。

聴覚障がい者の方と、一緒に“おしゃべり”を楽しみたいという会となり、なの花会員は、「身体を動かすこと



皿まわしに挑戦中の様子

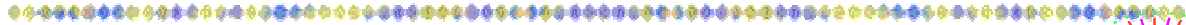
で健康に！そして楽しいことを一緒に探していきたい」と、いろいろなことに挑戦しています。



今日の予定をボードを使って伝えています



グランドゴルフでは歓声・笑顔がいっぱいでした



第2回安佐南区ボランティアまつり開催決定！



地域の中では、孤立している方や、援助の必要な方が増えています。声かけや、支援はますます大切になってきます。そのため、ボランティア活動の紹介や体験などを通して、ボランティア活動やボランティアセンターを知ってもらい、理解・啓発・参加促進を図るとともに、区内福祉施設・作業所の紹介、高齢者や障がい者の楽しいふれあいの場を通して、地域住民やボランティアの支えあいによる福祉のまちづくりを進めていきましょう！



テーマ：「あさみなみ 絆つながる温かさ」

～ひとりにしない、させない、声かけを！～

日 時：10月30日(日)10:00～15:00

場 所：安佐南区総合福祉センター

◆ボランティアまつりでの事前準備・当日お手伝いを募集しています。◆

連絡先：安佐南区社会福祉協議会 TEL 831-5011